

総合学習部会 研究の概要

粟生津小学校 校長 武藤 真理子

1 研究主題

新学習指導要領における総合的な学習の時間のあり方

2 研究の概要

(1) 講演会 (第1回部会)

- ① 日時・会場 6月1日(水) 15:30~16:40 燕西小学校 会議室
- ② 講師 新潟市立味方小学校長 大井 隆 様
- ③ 演題 「これからの総合的な時間の時間」
- ④ 内容

今回の改訂によって、時数は縮減されたが、総合的な学習の時間のねらいは変わっていない。

どのように総合的な学習の時間を進めていけばよいのかというと、「総合的な学習の時間のねらいを全職員が十分に理解すること」「単元を見直すこと」「教育課程を見直すこと」である。特に単元の見直しでは、次のように、ねらいを達成させるために必要なことをチェックする必要がある。

- a 子どもに実感を伴って変容させたい見方や考え方(生きる力)は明確に示されているか。
- b 活動に、十分に「選択」「人とのかかわり」「還元する・発信する」場があるか。
- c 各活動が十分にあるか。書いたものが保存されているか。見直す場があるか。
- d 子どもによってストーリー性のある展開か。

このほか、具体的な単元づくりについて指導をいただいた。

(2) 授業研究 (第2回部会)

- ① 日時・会場 11月30日(水) 13:30~16:40 粟生津小学校
- ② 授業者 粟生津小学校4年生担任 児玉 重 教諭
- ③ 指導者 新潟市立味方小学校長 大井 隆 様
- ④ 内容

ア単元名「粟小エコキッズ隊～ホテルを復活させようプロジェクト～」

イ単元の目標「学習したことや経験したことなどを生かしながら、ホテルを復活させるために、自分たちができることはないか考え、進んで活動しようとすることができる。」

ウ本時の目標「今まで学んできたことを基に、昔のようにホテルが舞う地域にするために必要な環境を考えたり、発表したりすることができる」

エ本時の概要

前時までの学習を振り返り、**ホテルが舞う地域にするために、自分たちができることを考えよう**というめあてをもつ。学校の周りの池や田んぼは環境が整っていないという実態を話し合う。その後ホテルの専門家(地域のゲストティーチャー)からアドバイスをもらい、自分たちができることを話し合う。地域や行政に働きかけることや、全校児童に働きかけて、池の清掃を行うことなどが話し合われた。

オ指導の概要

○どこから総合的な学習の時間を創り上げるかという、まず最初に「最後にやらせたい課題」は何かを考える。「〇〇池にホテルを復活させよう」という課題意識からスタートさせどうやって進めていくか子どもの中にストーリー性があることが大切である。

○ゲストティーチャーの使い方を考えておく。時にはビデオに撮っておいて必要な話を必要な場面で取り入れることもよい。

○まず、十分に対象(ここでは川や池)とかかわらせることが大切。本時にはかかわったからこそ、ヒルのことやカワニナのすみかのコケのことなどに触れる発言が生まれた。

(3) 成果と課題

・講演会講師と授業研究の指導者を大井校長先生からお引き受けいただき、筋の通った研修ができたと感じている。講演会の内容を授業研究でより具体的に指導していただき、単元構成や授業のあり方が見えてきたと感じた。今後は「探求的な学習」についての研修を一層進めていきたいと考えている。